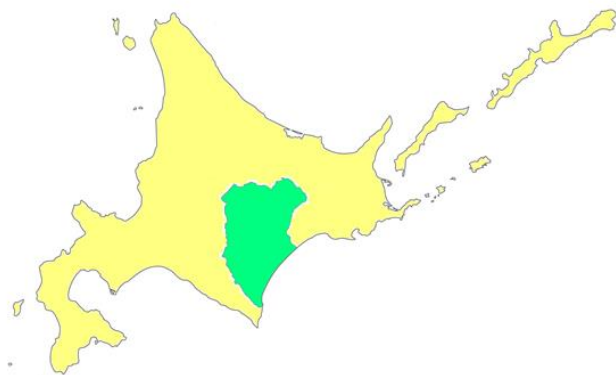




と か ち 経 済 情 報

令 和 8 年 1 月 ~ 3 月



財務省 北海道財務局 帯広財務事務所

【利用上の注意】

・公表数値は、推計方法の変更等により、過去に遡って改訂される場合がある。








【問い合わせ先】

財務省 北海道財務局
帯広財務事務所 財務課
〒080-0015
帯広市西5条南8丁目
帯広第2地方合同庁舎
TEL 0155 (25) 6381

と か ち 経 済 の 概 況

個人消費は持ち直しており、観光は緩やかに回復しつつあるほか、公共事業は前年を上回っている。

このように管内経済は、**持ち直している**。

項目	前回(令和7年10月～12月)	今回(令和8年1月～3月)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	
1. 個人消費	持ち直している	持ち直している	
2. 観光	持ち直している	緩やかに回復しつつある	
3. 雇用情勢	有効求人倍率は前年並み	有効求人倍率は前年を下回る	
4. 生乳生産	前年を上回る	前年を下回る	
5. 公共事業	前年度累計を上回る	前年度累計を上回る	
6. 住宅建設	前年を大幅に上回る	前年を下回る	

先行き	所得環境が改善する下で、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、中東情勢および金利の動向に注意する必要がある。
-----	--

【参考】

項目	前回(令和7年10月～12月)	今回(令和8年1月～3月)
企業倒産	前年を上回る	負債総額は前年を下回る
金融	貸出金残高は前年並み	貸出金残高は前年を上回る

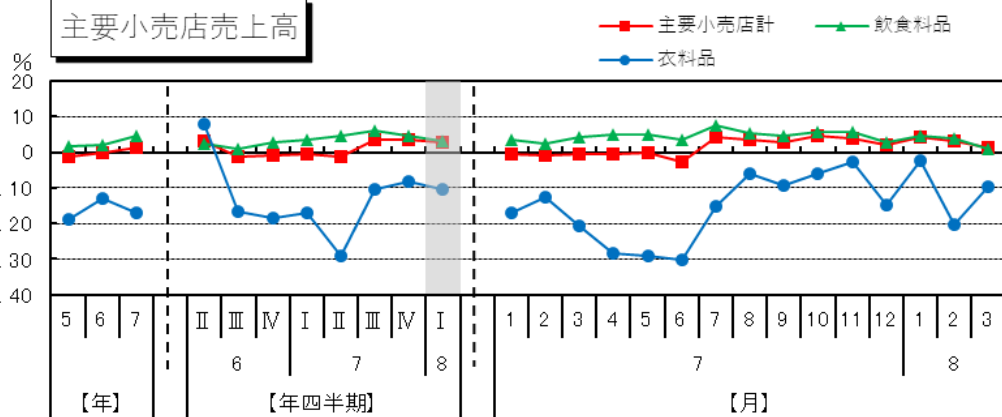
1. 個人消費 ▶ 持ち直している

主要小売店売上高は、衣料品が前年を下回っているものの、飲食料品、身の回り品は前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

乗用車販売（新車登録・届出台数）は、前年を下回っている。

このように、個人消費は持ち直している。

主要小売店売上高

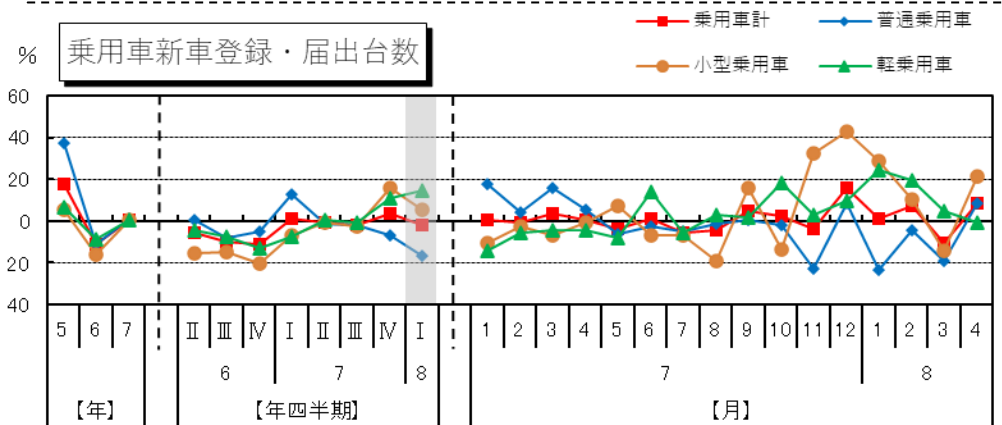


<資料：管内主要小売店>

〔1-3月前年同期比〕

主要小売店計 +3.0% 飲食料品 +3.1% 衣料品 ▲10.2%

乗用車新車登録・届出台数



<資料：帯広自動車販売店協会>

〔1-3月前年同期比〕

乗用車計 ▲2.0% 普通乗用車 ▲16.8% 小型乗用車 +5.2%

軽乗用車 +14.4%

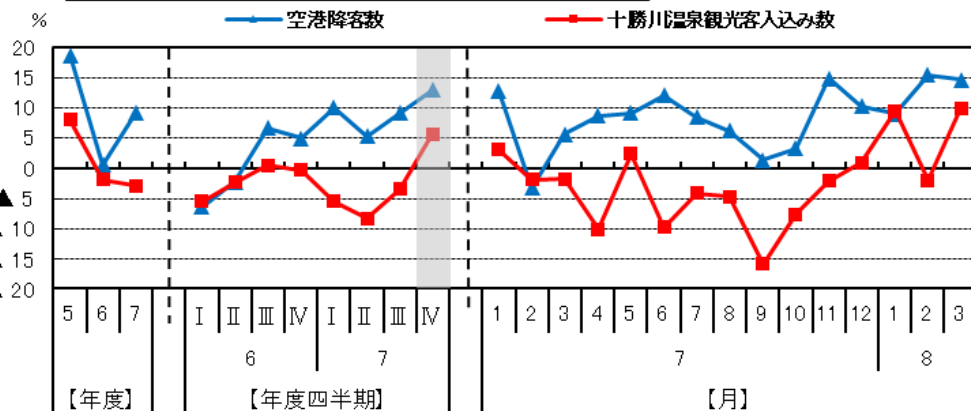
〔企業・団体の生の声〕

- ▶ 1～3月期は例年と比較し寒さが厳しかったが、気温や積雪等天候による変動は無かったと感じている。アパレル店舗は苦戦が続いたが、宝飾関連、コスメは高価格帯でも売れている。
- ▶ 中東情勢の影響から一時的にトイレットペーパーなどの紙類が売れたが、品薄になるようなことはなかった。今後は梱包資材などの不足が予想されるため対応策を検討している。
- ▶ 2027年4月にエアコンに関する省エネ基準が引き上げられることから、省エネ性能は高まるが価格が大幅に上がる見通しとなっている。安いモデルを希望する人は来年4月までに購入する必要があるため、エアコンは年間を通じて売上が増加する見通し。
- ▶ 4月の環境性能割廃止に伴い、自動車の登録をその廃止以降にしたいといった消費者の要望が大きく、普通車・軽自動車ともに影響が見られ、特に普通車は前年を下回ることになった。
- ▶ 新社会人は新車より中古車という人が多い。ひと昔前と比べ、新車の値段が上がっており、軽でも簡単に購入することが難しくなりつつあるからと考えている。

2. 観光 緩やかに回復しつつある

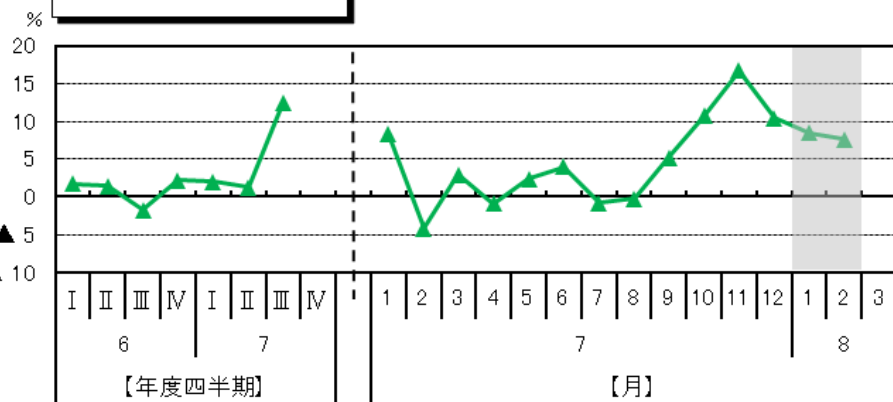
空港降客数、十勝川温泉観光客入込み数、市内ホテル宿泊客数はともに前年を上回っており、緩やかに回復しつつある。

空港降客数及び十勝川温泉観光客入込み数



<資料：北海道エアポート(株)帯広空港事務所、音更町（主要旅館5社）>

市内ホテル宿泊客数



<資料：日本銀行釧路支店帯広事務所>

(1-3月前年同期比)

空港降客数 +13.0% 十勝川温泉観光客入込み数 +5.7%
 市内ホテル宿泊客数 (1月前年比)+8.5%、(2月前年比)+7.6%

[企業・団体の生の声]

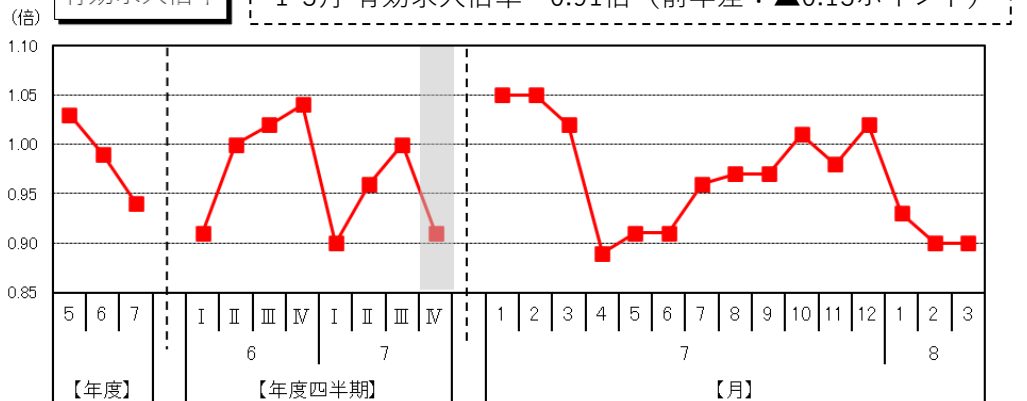
- 帯広空港では、韓国定期便が就航していることもあり、前年を上回った。
- 昨年は災害級の大雪により数日欠航する事態もあったが、今年は比較的天候が安定していたため、反動増となっている。
- 十勝川温泉では、円安もあってか、東アジア・東南アジアを中心にインバウンドが多く訪れていた。国内客が減少した分をインバウンドが補っているといった状態である。
- 人が動き始めているように感じている。
- 市内ホテルは、昨年5月就航の韓国定期便により、閑散期にしては悪くなく、昨年度より良い。
- 韓国定期便の良い効果の恩恵は小さかった。
- 道内に着目すると、動きが鈍い。

3. 雇用情勢 ▶ 有効求人倍率は前年を下回る

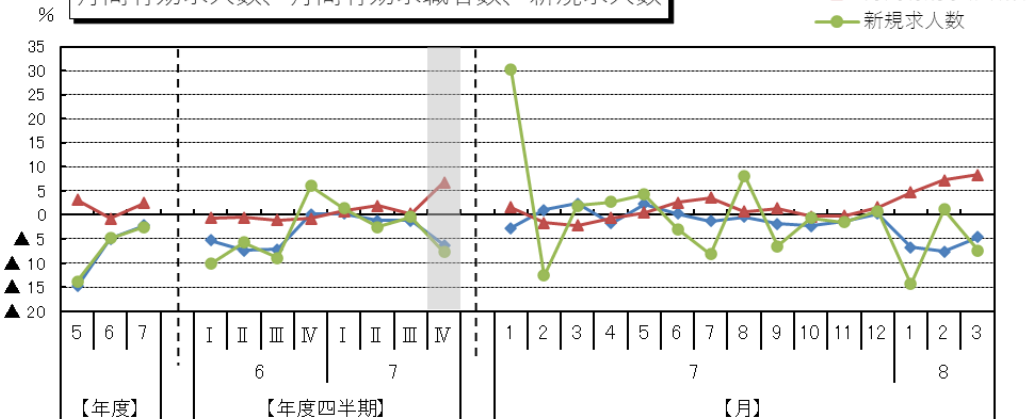
雇用情勢（パートを含む常用）をみると、月間有効求職者数は前年を上回り、月間有効求人数が前年を下回ったため、有効求人倍率は前年を下回っている。

新規求人数は、前年を下回っている。

有効求人倍率 1-3月 有効求人倍率 0.91倍（前年差：▲0.13ポイント）



月間有効求人数、月間有効求職者数、新規求人数



<資料：帯広公共職業安定所>

[1-3月前年同期比]

月間有効求人数 ▲6.3% 月間有効求職者数 +6.8%

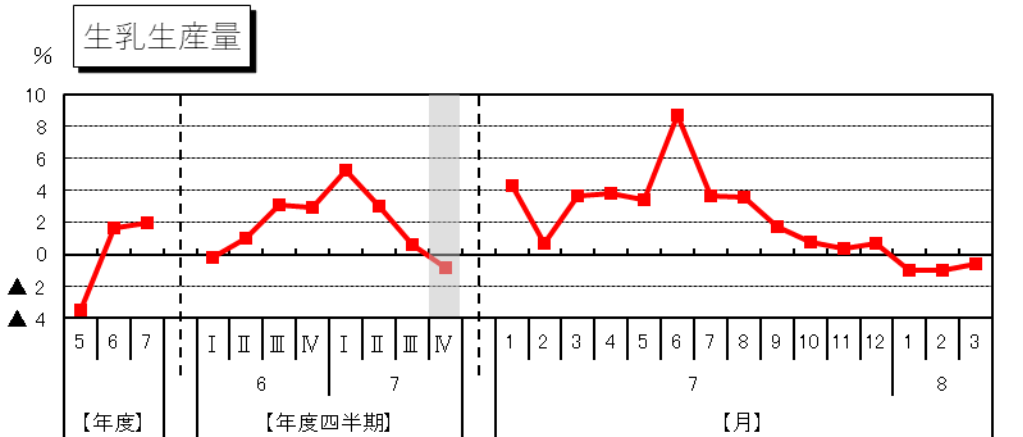
新規求人数 ▲7.7%

[企業・団体の生の声]

- 求人動向について、求人件数は微増しているものの、一社当たりの求人数が減少しており、全体でも求人数が減少している。
- 新卒よりも経験者採用にシフトしているためほぼ通年で採用活動を行っている。今年も更に10名以上は採用したいと考えているが、競合も激しく、昨年以上に厳しさを感じている。
- 新卒の人数はなんとか確保できた。次年度以降は更に学生が減少しており、今年以上に苦戦することが見込まれている。
- 業務を継続的に推進するための最低限の人員体制は整っているが、人的余力があるわけではない。
- 離職者が出なければ良いが、現実的には難しい。

4. 生乳生産 前年を下回る

生乳生産量は、前年を下回っている。



(1-3月前年同期比)

生乳生産量 ▲0.9%

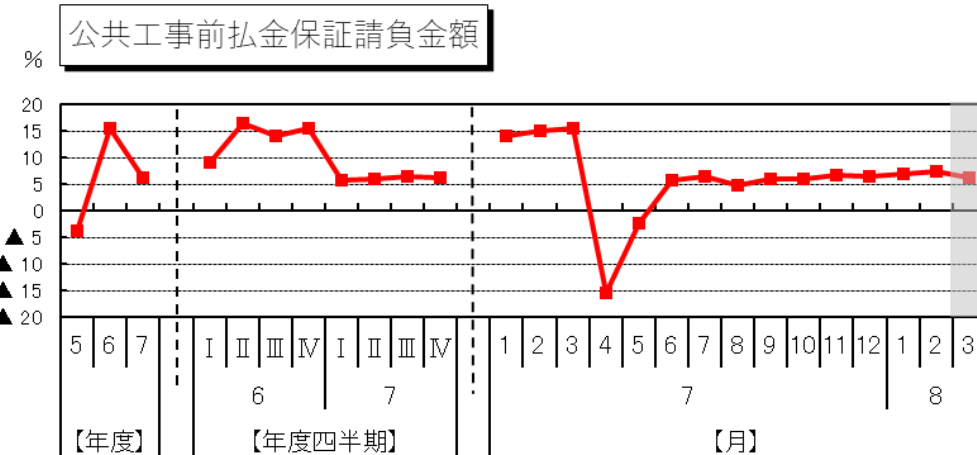
[企業・団体の生の声]

- 生産抑制を受け乳牛頭数は減少していたものの、一頭あたりの生産量は増加していたため、前年を上回ることが続いていたが、その状況も一巡し、前年を下回るようになった。

<資料：十勝総合振興局>

5. 公共事業 前年度累計を上回る

公共事業を前払金保証請負金額でみると、農業基盤で増加したことから、前年度累計を上回っている。



(3月末前年度累計比)

前払金保証請負金額 +6.2%

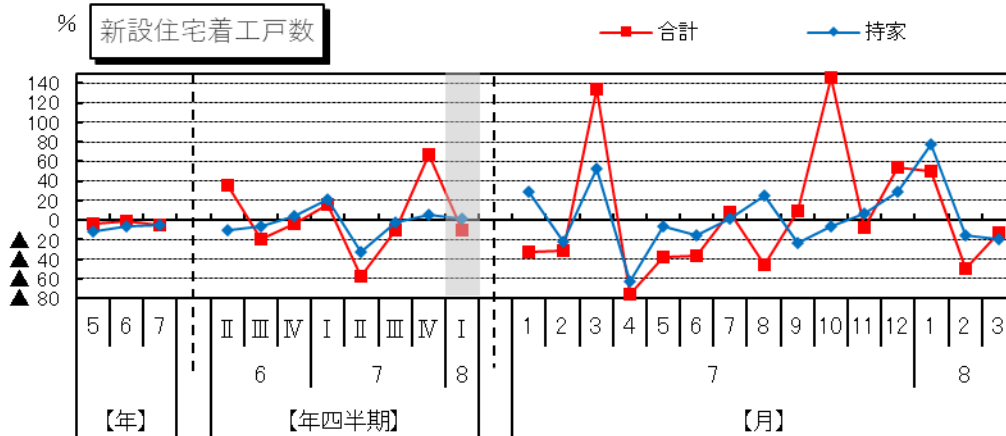
[企業・団体の生の声]

- 中東情勢の影響で物が入って来なくなるのを心配している。特に石油由来の製品は既に値上げや受注停止しているものもあり、工事には欠かせない生コンやアスファルトも影響を受けることになる。

<資料：北海道建設業信用保証㈱>

6. 住宅建設 前年を下回る

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、持家は前年並みであるものの、貸家、分譲住宅は前年を下回っている。



[1-3月前年同期比]

合計 ▲10.2% 持家 +1.9%

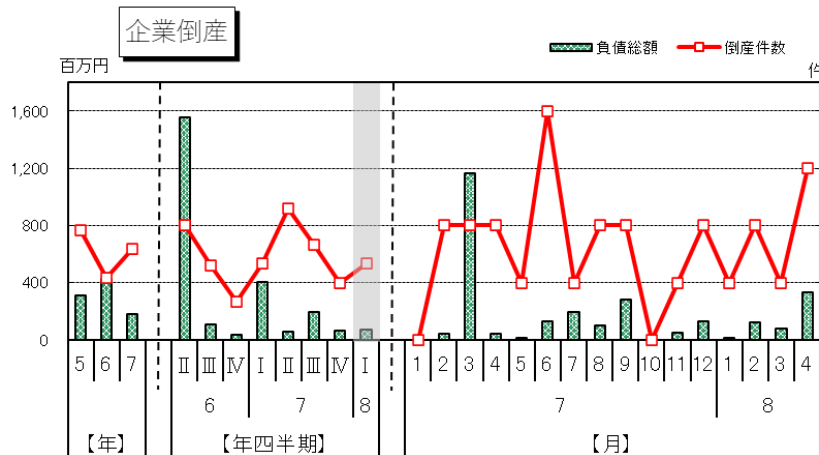
[企業・団体の生の声]

➤ ホルムズ海峡封鎖の影響で、ナフサが不足している。ユニットバスなどの部材は納入の目途が立っていない状況となっている。更に塩ビ管や樹脂製サッシも不足することが予想され、新築のみならず、リフォーム工事でもできなくなる可能性がある。

<資料：国土交通省、音更町、幕別町、芽室町>

(参考) 企業倒産 負債総額は前年を下回る

企業倒産は、件数は前年と同数であり、負債総額は前年を下回っている。



[1-3月 月平均]

負債総額 71.3百万円

倒産件数 1.3件

[1-3月 月平均前年同期差]

負債総額 ▲331百万円

倒産件数 0件

(注) 年、四半期は月平均。

<資料：(株)東京商工リサーチ>

(参考) **金融** 貸出金残高は前年を上回る

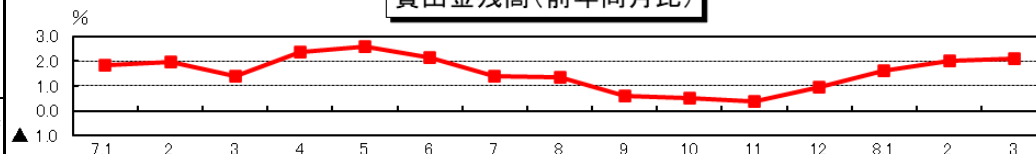
金融機関の貸出金残高（銀行・信用金庫・信用組合ベース）をみると、事業者向け、個人向けともに前年を上回っている。

(単位：百万円、%)

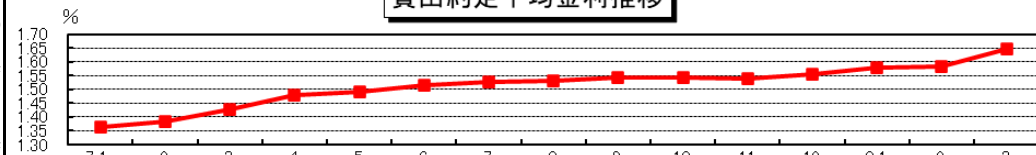
年月	貸出金 残高	前年比	事業者向け貸出				個人		地方公共 団体			
			前年比	設備	前年比	運転	前年比	前年比	前年比			
5. 3 末	862,005	2.3	507,262	2.7	202,055	4.3	305,207	1.7	279,427	2.4	75,312	▲ 1.1
6. 3 末	870,617	1.0	507,667	0.1	211,257	4.6	296,410	▲ 2.9	287,062	2.7	75,884	0.8
7. 3 末	882,632	1.4	511,870	0.8	213,319	1.0	298,551	0.7	292,067	1.7	78,693	3.7
7. 10 末	877,330	0.5	508,762	▲ 1.1	213,169	1.0	295,593	▲ 2.5	293,545	1.2	75,018	9.4
11 末	888,415	0.4	517,050	▲ 0.9	214,273	0.8	302,777	▲ 2.0	294,401	1.2	76,960	6.2
12 末	915,392	1.0	544,162	0.2	215,069	1.1	329,093	▲ 0.3	294,848	1.2	76,378	5.4
8. 1 末	904,744	1.6	531,700	1.2	214,593	0.8	317,107	1.5	294,851	1.6	78,188	4.6
2 末	907,253	2.0	532,608	1.9	213,998	0.5	318,610	2.9	295,204	1.6	79,435	4.3
3 末	901,487	2.1	523,555	2.3	215,375	1.0	308,180	3.2	296,183	1.4	81,741	3.9

年月	預金 残高	前年比	要求払		定期性		貸出約定 平均金利
			前年比	前年比	前年比	前年比	
5. 3 末	1,670,677	1.5	1,169,121	3.7	498,798	▲ 3.3	1.234
6. 3 末	1,707,849	2.2	1,229,927	5.2	475,856	▲ 4.6	1.251
7. 3 末	1,699,598	▲ 0.5	1,229,517	▲ 0.0	467,665	▲ 1.7	1.428
7. 10 末	1,713,375	▲ 0.4	1,232,727	▲ 0.3	478,078	▲ 0.9	1.544
11 末	1,733,629	▲ 0.2	1,249,573	▲ 0.2	481,098	▲ 0.6	1.540
12 末	1,753,446	0.4	1,268,886	0.5	481,566	0.1	1.554
8. 1 末	1,729,419	0.9	1,247,556	1.3	479,363	▲ 0.1	1.577
2 末	1,737,426	1.3	1,259,021	1.6	476,042	0.5	1.584
3 末	1,722,788	1.4	1,243,591	1.1	476,439	1.9	1.645

貸出金残高(前年同月比)



貸出約定平均金利推移



(注)「貸出約定平均金利」の基礎データには、制度融資に関する金利データが含まれており、地方公共団体から受け取る利子補給分について、算定可能な限り、これを含めている。